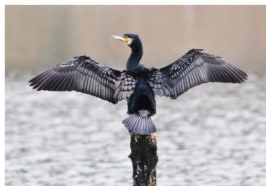


園内で見られる生きもの



カワウ



コチドリ



コアシサン



メジロ



トビハゼ



チコガニ

フィールドマナー(園内でしてはいけないこと)

- ペットを連れての入園
- 生きものの持ち帰り、持ち込み
- ボール遊びなどの運動
- 自転車等の乗り入れ
- 園内での喫煙
- 楽器の演奏など騒がしい行為
- たき火など火気の使用
- テントの使用(R2.10.1より禁止)
- 野鳥や野良猫へのエサやり
- ドローン、ラジコンの使用

利用案内

| | | |
|------|--------|------------|
| 開園時間 | 2月～10月 | 9:00～17:00 |
| | 11月～1月 | 9:00～16:30 |

閉園時刻 30分前で入園受付の終了及びネイチャーセンターの閉館となります。

| | |
|-----|--|
| 休園日 | 毎週月曜日(月曜が休日または都民の日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) |
|-----|--|

| | | | |
|-----------------|--|-----------|------|
| 入園料 | 一般 | 団体(20名以上) | |
| | 大人(高校生以上) | 300円 | 240円 |
| | 65歳以上 | 150円 | 120円 |
| | 中学生(都内在住在学)・小学生以下、身体障害者手帳、愛の手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を持参の方と付添の方 | 左記の方は無料 | |
| 年間パスポート(窓口にて販売) | | | |
| | 一般(高校生以上) | 1,200円 | |
| | 65歳以上 | 600円 | |

- 65歳以上の方は年齢を確認できるものを、都内在住・在学の中学生は証明できるものを提示ください。
- 都外在住・在学の中学生は入園料150円(年間パスポート600円)となります。 ※都民の日(10月1日)は無料です。

アクセス

電車・バス
 ・東京モノレール「流通センター」駅下車、徒歩約15分
 ・JR大森駅・京浜急行平和島駅から
 京急バス 京浜島・昭和島・城南島循環「野鳥公園」下車、
 大田市場行「東京港野鳥公園」下車、徒歩約5分

自動車
 首都高速湾岸線大井南ICより約10分
 首都高速羽田線平和島ICより約10分
 駐車場有(台数に限りがあります)



問い合わせ
 東京港野鳥公園管理事務所
 電話 03-3799-5031
 FAX 03-3799-5032
 〒143-0001 東京都大田区東海 3-1
http://www.tptc.co.jp/park/03_08

海上公園ナビ 検索



東京港野鳥公園

Tokyo Port Wild Bird Park



指定管理者 東京港野鳥公園グループ

無料解説

私達は開園中いつでも解説しておりますので、気軽に声をかけてください

● **レンジャー** (日本野鳥の会)
 腕章が目印です。
 ネイチャーセンターに常駐しています。



● **ボランティアガイド**
 ブルーの帽子と腕章が目印です。
 園内を巡回しています。



貸出し等サービス(無料)

双眼鏡
 ネイチャーセンター、
 管理事務所にて貸出。
 50台程度あります。



無料



図鑑
 ネイチャーセンター内に、野鳥図鑑をはじめとする各種図鑑・写真集などがあります。



閲覧無料

年間を通じて開催される主なイベント

- ① **東京港野鳥公園フェスティバル** —— 5月、11月
 野菜収穫体験、苗木無料配布ほかイベント多数 **当日無料**
- ② **たんぼクラブ** —— 4月～11月
 種まきから収穫までを体験 50名(抽選、年間メンバー固定)
- ③ **潮入りぐるっと観察会** —— 毎月第2日曜日
 普段は入れない保護区をボランティアが案内
 当日受付(先着順)、定員40名

● **東京港グリーンボランティア**
 緑色のピブスが目印です。年間行事に協力しています。



東京港野鳥公園フェスティバルの様子



東京港グリーンボランティア

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後の状況により貸出し等サービス、イベントなど中止、変更する場合があります。

①自然学習センター



自然生態園で行う自然観察会や工作教室などの行事で利用します。

③芝生広場



広々とした原っぱです。お弁当など、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

⑤淡水池



西淡水池



東淡水池

雨水が溜まってできた淡水池です。一年を通じ、カイツブリ、カワセミ、サギの仲間などが観察できます。水辺のヨシ原では夏にはオオヨシキリ、冬にはオオジュリン、ウグイス等の小鳥も観察できます。また冬になると冬越しをするカモたちの憩いの場になっています。島の木々や周辺の木々ではタカの間も見られます。

⑥潮入りの池



淡水池からの水と海水が混じった汽水の池で、潮が引くと干潟が現れます。春から秋の干潟では、トビハゼ、ヤマトオサガ二等の干潟の生きものが見られます。杭の上ではカワウやアオサギが休み、時にはカワセミも止まっています。冬にはスズガモ等のカモの仲間も飛来します。

②自然生態園



田んぼや畑、小川や雑木林があり、のどかな景色が広がっています。四季の花が咲き、昆虫や水辺の生きものを見ることができます。

④東観察広場



東淡水池のほとりにあり、野鳥をじっくり観察することができます。備え付けの望遠鏡（悪天候時を除く）をそとのぞいてみましょう。

埋立地によみがえった野鳥の楽園

野鳥公園がある場所は昔は浅い海でしたが、1960年代に埋立てられました。その後、自然に出来た池や草原に野鳥が集まるようになり、地域の人たちは蘇った自然を守る運動を始めました。その結果、東京都はここに公園を作ることを決めました。

1978年（昭和53年）に最初に出来た時は現在の西淡水池周辺部のみの公園（3.2ha）でしたが、拡大開園を望む都民の声が高まり1989年（平成元年）に24.9haになり、2018年（平成30年）には前浜干潟部分が整備され36.0ha（内水域11.9ha）に拡張されました。

また、2000年6月17日には、「東アジア・オーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク」（現：東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ）の参加湿地となり、シギ・チドリ類の重要な生息地であることが国際的に認められました。



注）3・4号観察小屋には階段があります。

1・2・3・4号観察小屋



水辺の鳥や山野の鳥を備え付けの望遠鏡で観察できます。

⑧前浜干潟観察デッキ



遠くに前浜干潟を望めます。多くの年代層の方がご利用できますよう高さの異なった観察用の窓があります。

⑨ネイチャーセンター



冷暖房完備で、快適に野鳥観察ができます。レンジャーやボランティアによるガイドが受けられるほか、園内の自然に関する展示も楽しめます。平成28年11月にリニューアルされました。



前面に潮入りの池を望み、前浜干潟も望めます。また、ライブカメラ映像で観ることができます。

| 館内のご案内 | |
|--------|--------------------------------|
| 3F | 観察ロビー |
| 2F | 観察ロビー・視聴覚室 レンジャーコーナー 授乳室 |
| 出入口 | 授乳室 |
| 1F | 観察ロビー・展示室 図書コーナー・自動販売機 |
| B1F | 干潟遊歩道（がた湯ウォーク） |



干潮時には、遊歩道の上を歩いて小さなカニ等の生き物を観察できます。

| <施設のご案内> | |
|----------|-----------------|
| | 身障者用駐車スペース |
| | だれでもトイレ |
| | オストメイト |
| | 授乳室 |
| | ベビーベッド |
| | ベビーチェア |
| | 園路 |
| | 保護区内管理路（立入禁止です） |
| | 車イス通行の目安 |
| |（勾配4%以下） |
| |（勾配4~8%以下） |
| | ———（勾配8%以上） |

